

協議

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について(説明)

1 事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価は、五泉市地域公共交通活性化協議会が「五泉市地域内フィーダー系統確保維持計画」に位置付けられた補助対象事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことで、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的としています。

2 計画の概要

令和4年度 五泉市地域内フィーダー系統確保維持計画

①対象期間 令和3年10月1日～令和4年9月30日

②事業の目標 ごせん乗合タクシー「さくら号」について、本計画の期間である向こう3ヶ年の間運行を継続し、利用者の利便性を確保・維持する。
それぞれの系統の輸送人員について、前年比100%以上を維持する。

3 事業評価の概要

○前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況

先行事業の評価結果をどのように反映し事業を実施したかについて、記載しております。

令和3年度の事業評価結果をふまえ、運行系統(エリア)ごとに以下の点に関する取り組みを実施しました。

- ① 総合時刻表の作成と配布による周知
- ② 総合時刻表の表現見直し(説明に絵を用いる等)
- ③ 市広報やHPでの情報発信
- ④ 高齢者向けの利用促進活動(免許返納高齢者への制度説明)
- ⑤ 高齢者向けの利用促進活動(地域への出前講座の実施)

○事業実施の適切性

生活交通確保維持改善計画に基づく事業実施の適切性について、A～Cの3段階により評価を行います。

当協議会の計画に基づく事業の効果は、市内全域の交通空白地域を解消し、郊外と市街地の移動に利便性・交流性の高い公共交通体系を実現する事が期待されており、計画に記載どおりの系統、及び日数の運行を行いましたので、すべての系統について「A」評価としました。

- A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- B 事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった。
- C 事業が計画に位置付けられたとおりに実施されなかった。

○目標・効果達成状況

生活交通確保維持改善計画に位置付けられた「定量的な目標・効果」について、達成状況に応じA～Cの3段階により評価を行います。

当協議会の事業目標である「輸送人員について、前年比100%以上を維持する。」を満した五泉西エリアはA評価、満たなかった五泉東エリア・村松エリアの2系統について、C評価といたしました。

- A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。
- B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。
- C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。

また、各系統における利用者の変動について、利用実績データ等から年代・属性や利用目的、変動要因を分析しました。

※全エリア共通

- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策に伴う自粛等の社会情勢が緩和しつつあるが、依然として感染者数が増大すると外出自粛等により、一時的に利用者が減少する傾向がみられました。こうした社会情勢の影響を受け、大きな制度改革を行っていないにも関わらず大きな減少がなかった本年は、一定程度利用者の確保が出来ていたものと考えられます。
- ・ 全てのエリアで運行便数は増加しました。総合時刻表に記載した混雑案内の効果によるものと考えられます。

・五泉東エリア

利用者数はエリア全体で前年比△606人であった。地域の主な利用特性として、郊外から市街地へ買い物や通院など日常的な目的で利用する、郊外にある障がい者施設や企業へ通所・通勤するために利用する、といった2つが挙げられます。

年代別で変化を見た場合、10代の利用者増加は通学での高頻度利用者が増えたため、50代の減少は通勤での高頻度利用者の利用がなくなったためだと考えられます。利用者数は減少しましたが、実利用者数が増えていることから、制度の浸透が進んだと考えられます。

・五泉西エリア

利用者数全体としては前年比148人の増加となりました。地域の主な利用特性としては、買い物・通院などを目的とした日常的な利用のほか、郊外にある障がい者施設への若年層の通所利用が挙げられます。

世代間で増減はあるものの60代以上の高齢者の利用数は昨年に続き増加しました。時刻表の表現見直しなど普及啓発の効果が表れたものと考えられます。

・村松エリア

利用者数はエリア全体で前年比△305人の減少でした。地域の主な利用特性としては、市街地にある商店(スーパー)や医療機関、通所施設や交通結節点へ郊外地から移動するために利用されることが多い点、学童保育へ通う小学生の利用が多い点が挙げられます。

今回、高頻度利用者が年代間で動いたため、いくつかの世代で増減が発生しましたが、30代以上の利用者は前年比281人増加しました。一方、小学生は学童保育への利用者減、20代は高頻度利用者が利用しなくなったことが原因で減少したと考えられます。

○事業の今後の改善点

これまでの周知活動や利用促進活動により制度が広く浸透してきています。しかし制度開始から10年以上経ち利用者の世代交代も進んでいるため、常に新たな利用者獲得を図る必要があります。引き続き、総合時刻表を全戸配布する他、地域への出前講座を継続し、制度周知を図ります。

今後地域人口は引き続き減少していくと見込まれますが、高齢者の免許保有率上昇と比例し免許返納者の増加が予想されます。そのため交通弱者(公共交通を必要とする住民)が一定数地域に残る傾向が今後も続くと想定されることから、地域公共交通の維持確保は引き続き重要な課題になると予想されます。知らなかったから使えなかったという方を減らし、1人でも多くの方に知ってもらい長く・多く利用してもらえるよう、以下の取り組みについて各エリアに合わせ検討・実施を行います。

- ・市広報やHPを活用した周知・PRの継続
- ・総合時刻表の作成・配布の継続
- ・高齢者向けの利用促進活動の継続
- ・乗合率など新たな視点からの考察

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 五泉市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
泉観光バス(株) みどりハイヤー(株)	ごせん乗合タクシー 「さくら号」 (五泉東エリア)	・市広報・HP・時刻表を活用した各種周知活動を継続した。 ・時刻表の表現を見直した。絵を用いた説明、混雑予想の掲載等) ・高齢者を対象とした利用促進活動として、免許返納高齢者への制度説明を継続実施した。また、新たに高齢者向けの出前講座を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、97.3%であり目標を達成できなかった。 特定の高頻度利用者の利用取り止め及び新型コロナウイルス感染予防対策や冬季間の豪雪が利用者減少の主たる理由だと考えられる。	・市広報・HP・時刻表を活用した各種周知活動を継続する。 ・高齢者向けの利用促進活動。(免許返納高齢者への制度説明、高齢者向けの出前講座)を継続する。 ・乗合率など新たな視点から考察する。
泉観光バス(株) みどりハイヤー(株)	ごせん乗合タクシー 「さくら号」 (五泉西エリア)	・市広報・HP・時刻表を活用した各種周知活動を継続した。 ・時刻表の表現を見直した。絵を用いた説明、混雑予想の掲載等) ・高齢者を対象とした利用促進活動として、免許返納高齢者への制度説明を継続実施した。また、新たに高齢者向けの出前講座を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、101.5%を達成した。	・市広報・HP・時刻表を活用した各種周知活動を継続する。 ・高齢者向けの利用促進活動。(免許返納高齢者への制度説明、高齢者向けの出前講座)を継続する。 ・乗合率など新たな視点から考察する。
泉観光バス(株) みどりハイヤー(株)	ごせん乗合タクシー 「さくら号」 (村松エリア)	・市広報・HP・時刻表を活用した各種周知活動を継続した。 ・時刻表の表現を見直した。絵を用いた説明、混雑予想の掲載等) ・高齢者を対象とした利用促進活動として、免許返納高齢者への制度説明を継続実施した。また、新たに高齢者向けの出前講座を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、98.2%であり、目標を達成できなかった。 10代以上は世代間で利用者のスライドが生じたが、総数は前年比とほぼ同数であった。学童に通う小学生の利用減が大きく影響したと考えられる。 その他、新型コロナウイルス感染予防である外出及び公共交通機関の利用自粛も影響したと考えられる。	・市広報・HP・時刻表を活用した各種周知活動を継続する。 ・高齢者向けの利用促進活動。(免許返納高齢者への制度説明、高齢者向けの出前講座)を継続する。 ・乗合率など新たな視点から考察する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	五泉市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>五泉市においては、平成21年度に策定した「五泉市地域公共交通総合連携計画」に基づき、平成22年10月より、地域公共交通活性化・再生総合事業を活用した、ふれあいバス(基幹バス)、ごせん乗合タクシーさくら号の実証運行を行い、平成24年4月より本格運行に移行した。また、令和2年3月に策定した「五泉市地域公共交通網形成計画」に基づき、将来にわたる市民の移動手段の維持・確保を目指す。現在、ふれあいバス(基幹バス)が村松地区と五泉地区を連絡する1路線、ごせん乗合タクシー「さくら号」(デマンド乗合タクシー)が、市内全域(五泉東エリア、五泉西エリア、村松エリア)に導入され、通勤・通学者や高齢者等を中心とした地域住民の生活交通を担っている。</p> <p>これらの背景をふまえ、地域公共交通確保維持事業により、ごせん乗合タクシー「さくら号」(デマンド乗合タクシー)運行を引き続き確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>

〇ごせん乗合タクシー「さくら号」 利用者数・運行便数

R3年度(補助年度)

(平日:244日、土曜:49日)

年月	利用者数				運行便数			
	五泉東	五泉西	村松	全体	五泉東	五泉西	村松	全体
R2.10	2,048	931	1,462	4,441	1,170	458	810	2,438
R2.11	1,870	846	1,382	4,098	1,057	401	730	2,188
R2.12	2,087	927	1,492	4,506	1,182	470	794	2,446
R3.1	1,748	764	1,185	3,697	982	401	650	2,033
R3.2	1,827	817	1,291	3,935	1,000	394	665	2,059
R3.3	1,979	921	1,427	4,327	1,113	461	796	2,370
R3.4	1,905	820	1,411	4,136	1,051	388	776	2,215
R3.5	1,597	723	1,377	3,697	929	377	712	2,018
R3.6	1,983	928	1,684	4,595	1,130	431	846	2,407
R3.7	1,806	816	1,493	4,115	1,057	387	800	2,244
R3.8	1,558	639	1,254	3,451	951	335	721	2,007
R3.9	1,642	749	1,419	3,810	973	353	780	2,106
合計	22,050	9,881	16,877	48,808	12,595	4,856	9,080	26,531

R4年度(補助年度)

(平日:243日、土曜:50日)

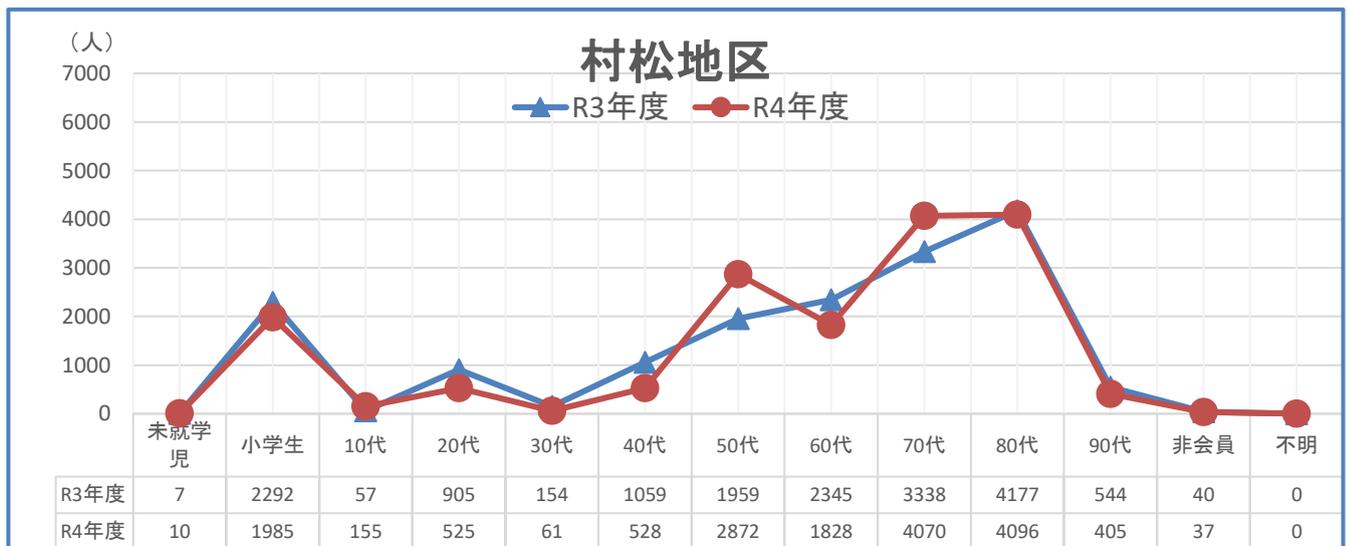
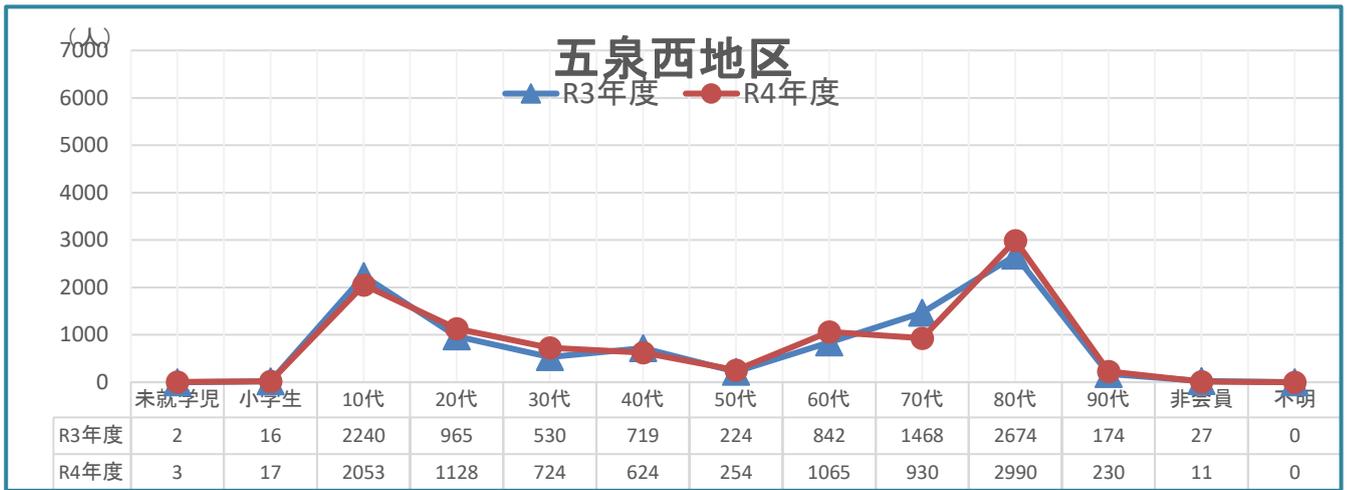
年月	利用者数				運行便数			
	五泉東	五泉西	村松	全体	五泉東	五泉西	村松	全体
R3.10	1,867	795	1,491	4,153	1,098	372	824	2,294
R3.11	1,860	852	1,544	4,256	1,066	419	833	2,318
R3.12	2,037	880	1,526	4,443	1,172	462	813	2,447
R4.1	1,765	761	1,258	3,784	1,043	385	691	2,119
R4.2	1,668	781	1,322	3,771	943	395	698	2,036
R4.3	1,997	930	1,378	4,305	1,164	458	774	2,396
R4.4	1,821	901	1,421	4,143	1,063	421	788	2,272
R4.5	1,730	817	1,309	3,856	1,014	387	704	2,105
R4.6	1,863	991	1,500	4,354	1,074	463	829	2,366
R4.7	1,635	832	1,280	3,747	986	408	753	2,147
R4.8	1,589	658	1,240	3,487	981	361	739	2,081
R4.9	1,612	831	1,303	3,746	994	388	748	2,130
合計	21,444	10,029	16,572	48,045	12,598	4,919	9,194	26,711
前年度比	97.3%	101.5%	98.2%	98.4%	100.0%	101.3%	101.3%	100.7%

○年代別利用者数と割合

年代	五 泉 東						五 泉 西						村 松						全 体					
	R3年度		R4年度		比較		R3年度		R4年度		比較		R3年度		R4年度		比較		R3年度		R4年度		比較	
	人	年度内割合	人	年度内割合	人	増減率	人	年度内割合	人	年度内割合	人	増減率	人	年度内割合	人	年度内割合	人	増減率	人	年度内割合	人	年度内割合	人	増減率
未就学児	4	0.0%	3	0.0%	-1	75.0%	2	0.0%	3	0.0%	1	150.0%	7	0.0%	10	0.1%	3	142.9%	13	0.0%	16	0.0%	3	123.1%
小学生	7	0.0%	13	0.1%	6	185.7%	16	0.2%	17	0.2%	1	106.3%	2292	13.6%	1985	12.0%	-307	86.6%	2315	4.7%	2015	4.2%	-300	87.0%
10代	594	2.7%	1147	5.3%	553	193.1%	2240	22.7%	2053	20.5%	-187	91.7%	57	0.3%	155	0.9%	98	271.9%	2891	5.9%	3355	7.0%	464	116.0%
20代	2283	10.4%	1990	9.3%	-293	87.2%	965	9.8%	1128	11.2%	163	116.9%	905	5.4%	525	3.2%	-380	58.0%	4153	8.5%	3643	7.6%	-510	87.7%
30代	965	4.4%	1094	5.1%	129	113.4%	530	5.4%	724	7.2%	194	136.6%	154	0.9%	61	0.4%	-93	39.6%	1649	3.4%	1879	3.9%	230	113.9%
40代	1470	6.7%	1467	6.8%	-3	99.8%	719	7.3%	624	6.2%	-95	86.8%	1059	6.3%	528	3.2%	-531	49.9%	3248	6.7%	2619	5.5%	-629	80.6%
50代	3012	13.7%	1877	8.8%	-1,135	62.3%	224	2.3%	254	2.5%	30	113.4%	1959	11.6%	2872	17.3%	913	146.6%	5195	10.6%	5003	10.4%	-192	96.3%
60代	2173	9.9%	2823	13.2%	650	129.9%	842	8.5%	1065	10.6%	223	126.5%	2345	13.9%	1828	11.0%	-517	78.0%	5360	11.0%	5716	11.9%	356	106.6%
70代	3973	18.0%	3499	16.3%	-474	88.1%	1468	14.9%	930	9.3%	-538	63.4%	3338	19.8%	4070	24.6%	732	121.9%	8779	18.0%	8499	17.7%	-280	96.8%
80代	6852	31.1%	6774	31.6%	-78	98.9%	2674	27.1%	2990	29.8%	316	111.8%	4177	24.7%	4096	24.7%	-81	98.1%	13703	28.1%	13860	28.8%	157	101.1%
90代	639	2.9%	703	3.3%	64	110.0%	174	1.8%	230	2.3%	56	132.2%	544	3.2%	405	2.4%	-139	74.4%	1357	2.8%	1338	2.8%	-19	98.6%
非会員	78	0.4%	54	0.3%	-24	69.2%	27	0.3%	11	0.1%	-16	40.7%	40	0.2%	37	0.2%	-3	92.5%	145	0.3%	102	0.2%	-43	70.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	22050	100.0%	21444	100.0%	-606	97.3%	9881	100.0%	10029	100.0%	148	101.5%	16877	100.0%	16572	100.0%	-305	98.2%	48808	100.0%	48045	100.0%	-763	98.4%
60代未満	8335	37.8%	7591	35.4%	-744	91.1%	4696	47.5%	4803	47.9%	107	102.3%	6433	38.1%	6136	37.0%	-297	95.4%	19464	39.9%	18530	38.6%	-934	95.2%
60代以上	13637	61.8%	13799	64.3%	162	101.2%	5158	52.2%	5215	52.0%	57	101.1%	10404	61.6%	10399	62.8%	-5	100.0%	29199	59.8%	29413	61.2%	214	100.7%

※非会員・不明を除く

○年代別利用者数(グラフ)



○五泉市の運転免許保有者数と保有率の推移

年齢	R1年 (10月末)	R2年 (10月末)	R3年 (10月末)	R4年 (10月末)
65～69	3,804 (88.1%)	3,580 (89.5%)	3,428 (90.2%)	3,281 (90.8%)
70～74	3,182 (79.3%)	3,530 (79.7%)	3,825 (81.2%)	3,809 (81.4%)
75～	3,240 (35.4%)	3,272 (36.0%)	3,275 (36.4%)	3,615 (39.2%)
市全体	34,630 (79.8%)	34,210 (79.9%)	33,767 (80.0%)	33,384 (80.1%)

保有者数出典：運転免許統計（新潟県交通部運転免許センター）

○五泉市の運転免許返納者の推移

単位：人

年齢	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 (10月末時点)
65～69	8	12	8	6
70～74	44	34	44	9
75～	145	131	136	69
合計	197	177	188	84

出典：運転免許証自主返納者への支援制度 申請者数（環境保全課より）

○実利用者数の推移

単位：人

年代	五泉東地区での利用			五泉西地区での利用			村松地区での利用		
	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減
60代	46	51	5	27	23	-4	38	33	-5
70代	158	177	19	71	72	1	111	102	-9
80代	272	308	36	148	152	4	185	184	-1

※非会員（会員登録を行っておらず年齢が不詳）は除いて集計

※複数地区での利用者は利用した地区それぞれに計上

○年代別人口（各年10月末時点）

単位：人

年代	R2	R3	R4
0～9	2,978	2,843	2,698
10～19	4,124	4,018	3,870
20～29	3,939	3,785	3,820
30～39	4,618	4,418	4,192
40～49	6,215	6,132	5,968
50～59	6,260	6,238	6,236
60～64	3,355	3,263	3,146
小計	31,489	30,697	29,930
前年比（増減率）	-2.8%	-2.5%	-2.5%
65～69	4,019	3,801	3,612
70～79	7,426	7,583	7,689
80～89	4,627	4,632	4,641
90～	1,447	1,500	1,505
小計	17,519	17,516	17,447
前年比（増減率）	0.3%	0.0%	-0.4%
計	49,008	48,213	47,377
前年比（増減率）	-1.7%	-1.6%	-1.7%

○地区別人口（各年10月末時点）

単位：人

地区名	さくら号エリア	R2	R3	R4		
五泉地区	五泉地区 （市街地）	五泉東・西	24,061 -1.2%	23,819 -1.0%	23,594 -0.9%	
	川東地区	五泉東	4,630 -3.1%	4,523 -2.3%	4,403 -2.7%	
	橋田地区	五泉西	2,381 -1.9%	2,347 -1.4%	2,273 -3.2%	
	巢本地区	五泉東	2,026 -1.2%	2,006 -1.0%	1,947 -2.9%	
	小計		33,098	32,695	32,217	
	前年比（増減率）		-1.5%	-1.2%	-1.5%	
	村松地区	村松地区 （市街地）	村松	6,825 -1.7%	6,641 -2.7%	6,475 -2.5%
大蒲原地区		2,441 -1.7%		2,383 -2.4%	2,298 -3.6%	
十全地区		1,113 -3.3%		1,070 -3.9%	1,043 -2.5%	
川内地区		1,406 -2.2%		1,372 -2.4%	1,330 -3.1%	
菅名地区		4,125 -2.4%		4,052 -1.8%	4,014 -0.9%	
小計		15,910		15,518	15,160	
前年比		-2.0%		-2.5%	-2.3%	
合計		49,008	48,213	47,377		